

様式2 【生活様式などの無形のもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (可・否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 年中行事	(ふりがな) ねんちゅうぎょうじ	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	山入り		
伝承地域	只見町大倉地区		
由来	<p>(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか)</p> <p>1年の最初の仕事始めに、山の神に注連縄を山の入り口に奉納して挨拶する、という観念から生まれたものとみられる。山入りの儀礼は、貞享2年(1685)の風俗帳にも記載されており、江戸時代初期には行われていた。</p>		
内容	<p>(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども)</p> <p>正月2日の早朝、米・煮干・酒を神棚に上げ、蓑、笠、鉈を着用して山に入る。山の神を祀る杉の木へ「山入りの注連」を奉納し、その年の山中での安全を祈願する。山入りが終わらないと刃物は使ってはならないとされていた。</p>		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先	只見町教育委員会	電話	0241-82-5320

【継承活動を行っている方がいる場合】

個人	氏名 (ふりがな)	※顔写真がありましたら、コピーか電子ファイルをご恵願います。(貼り付けずに、名前がわかるようにして同封ください。)
	性別・年齢 生年月日	男 ・ 女 歳 明治・大正・昭和・平成 年 月 日 生	
	住所・電話	〒 電話	
	職 業		
団体	団体名 (ふりがな)	
	代表者氏名 (ふりがな)	
	団体の設立年月日	明治・大正・昭和・平成 年 月 日	
	問い合わせ先	電話	

【フリーフォーマット】

キーワード

<山の神に手を合わせる>



(只見町教育委員会)